

## 議事録

会議の名称	令和2年度第2回戸田市総合教育会議
開催日時	令和3年3月19日(金) 13時00分 ~ 13時55分
開催場所	戸田市役所 4階 市長公室
出席者氏名	市長 : 菅原 文仁 教育長 : 戸ヶ崎 勤 委員 : 仙波 憲一 委員 : 鈴木 晃 委員 : 土肥 美奈子 委員 : 木村 雅文
欠席者氏名	なし
事務局	政策秘書室 室長 : 住野 昌洋 主幹 : 西野 香織 副主幹 : 重信 雄太 主任 : 井上 聡
出席職員	教育委員会事務局 部長 : 山上 睦只 参事 : 星野 正義 教育政策室 室長 : 佐藤 尚子 教育総務課 副参事 : 栗津 典浩
議題	(1) 戸田市教育大綱について (2) その他
議事内容及び結果	各議題について担当より説明を行った後、委員と意見交換を行った。 戸田市教育大綱について、一部修正を市長に一任することを委員が同意し、決定となった。
会議の経過	別紙のとおり
会議資料	別添のとおり
傍聴人	1人
議事録調製	重信 雄太

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	<p>本日は、傍聴人が1名、お見えになっております。</p> <p>傍聴人の方に申し上げます。会議では静粛に傍聴されるようお願いいたします。また、会議の妨害となるような行為をしないよう、お願いいたします。</p> <p>それでは、只今から、「令和2年度第2回戸田市総合教育会議」を開会いたします。</p> <p>はじめに、菅原市長からご挨拶をお願いいたします。</p>
市長	<p>ただいまご紹介をいただきました、戸田市長の菅原文仁でございます。</p> <p>本日は、ご多忙にもかかわらず貴重なお時間を頂戴し、戸田市総合教育会議を開催させていただきますことに御礼申し上げます。</p> <p>それでは、開会に先立ちまして、一言ご挨拶申し上げます。</p> <p>1月7日に発出された緊急事態宣言が、政府より3月21日をもって2カ月半ぶりに解除されることとなりました。しかしながら、埼玉県を含む首都圏におきましては、危機的状況を脱したものの、新規感染者数は下げ止まりしており、予断を許さない状況は続いております。このところ、気候は暖かく穏やかになり、卒業式や入学式が数多く開催される春を迎えますが、式の挙行などについても大変なご苦労があるのではと推察しているところでございます。</p> <p>このような中、戸ヶ崎教育長をはじめ皆さまには、感染防止対策を進めながら「とだっ子」の学びのため、日々ご尽力いただきまして重ねて御礼申し上げます。</p> <p>また、鈴木委員におかれましては、今年度をもちまして任期が満了となります。平成21年4月から3期12年にわたり、これまで大変多くのご提言をいただきまして、誠にありがとうございました。この戸田市総合教育会議へのご出席も最後となりますことから、忌憚のないご意見を賜りますようよろしくお願い申し上げます。</p> <p>さて、今回の会議では、4月1日から施行予定であります新たな教育大綱につきまして、お諮りし決定したいと考えております。</p> <p>短い時間ではございますが、有意義な会議としていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>菅原市長ありがとうございました。</p> <p>それでは、本日の議題に入らせていただきます。議事の進行は、菅原市長をお願いいたします。</p>

市長	<p>それでは、議題（１）の「戸田市の教育振興に関する大綱について」でございます。</p> <p>現在の教育大綱が、今年度末で所定の期間を終えるため、法に基づき新たな教育大綱を定める必要がございます。</p> <p>ご存知のとおり、教育大綱は、教育振興計画を参酌し策定していることから、同じく新年度から始まります新たな第４次教育振興計画につきまして、教育委員会事務局から説明をお願いします。</p>
出席職員	<p>第４次戸田市教育振興計画についてご説明いたします。戸田市教育振興計画は、５年間の教育の方向性を定めるものとして、現在は第３次の計画の５年目にあたります。令和３年度からの５年間を見据えた教育振興計画案として、昨年より関係課で議論を行い、関係団体等へのアンケート調査、パブリックコメント、複数回の教育委員会定例会でのご議論を経て、現在、お手元でございます資料のとおり、案をとりまとめ、先ほどの教育委員会定例会にて決定いただきました。</p> <p>パブリックコメントは、１月５日から開始し、２月３日までの約１ヶ月間で実施しました。市民からのご意見はございませんでした。</p> <p>内容としましては、第３次戸田市教育振興計画から、キャッチフレーズ『とだっ子 やり抜く力で 未来に夢を』を引き継ぎ、社会が加速度的に変化していく未来を見据えた教育改革を進めるための、４つの方針を定めております。</p> <p>方針１として、『子供たちが可能性に挑戦し続ける力を育むための学びの実現』、方針２として、『多様性を尊重し、全ての子供たちが力を発揮できるような誰一人取り残さない学びの保障』、方針３として、『地域・家庭・産官学民などの多様な主体による学びの提供』、方針４として『個別最適な学びの実現に向けたEBPMの推進』を掲げております。</p> <p>第３次までの計画は、全体で１００ページほどある冊子のような形でした。様々な内容を盛り込んでおり、情報量が多い反面、全体を把握しづらいといった課題がございました。このため、第４次の本計画案では、「１枚の計画」をコンセプトに、今後５年間で進むべき大きな方向性だけを盛り込み、詳細な施策等は、HPも活用しながら発信していく形とすることとしております。</p> <p>今後は、令和３年４月１日より、本計画に基づいた教育改革を進めていきたいと考えております。</p>

	<p>以上でございます。</p>
市長	<p>ただいま、第4次教育振興計画について説明がございました。</p> <p>続きまして、教育長からこの教育振興計画についてご総括をいただければと思います。それでは、よろしく申し上げます。</p>
教育長	<p>お手元の教育振興計画の2枚目の下部にQRコードで第3期教育振興基本計画（国）と第3期埼玉県教育振興基本計画を掲載していますが、戸田市の教育振興計画は戸田市の思いだけで勝手に作るというわけにはいかず、国と埼玉県の重点等を活かしながら、戸田市独自の課題解決策や新たな施策を加えて策定をしてきたものです。たまたま国と埼玉県の第3期振興計画の方も私自身関わらせていただいております。ということが重要なのかということは認識しております。国や県の重点を活かしながら、今後の戸田市の新たな教育の方向性としてA3で2枚に簡潔にまとめたものであります。</p> <p>これはおそらく他の自治体でも類を見ないようなまとめ方なのかなと思っております。これだけではなく、紹介動画を作って発信をしていきたいと考えています。キャッチフレーズについては「とだっ子 やり抜く力で 未来に夢を」としていますが、これは前回の第3次教育振興計画から変えずに残っているキャッチフレーズです。</p> <p>全てのとだっ子が夢と希望を持ってソサイエティ5.0など予測不可能なこれからの未来を自らの力で主体的に生きてほしいという願いを込めて、また、やり抜く力というのはグリッドという言葉に代表されるように、非認知スキル、最近では社会情緒的スキルと言われているようですが、そういったスキルを身につけさせたいという思いを込めているということが特色であります。</p> <p>この計画に基づいて、これからの変化の激しい時代の中で、個別最適な学びとか、誰1人取り残さない学びを、産官学民との連携で、さらに本市の特色である教育政策シンクタンクを中心として、EBPMの推進ということ掲げて力強く取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>現在この計画の概要をまとめた動画を作成している最中ですが、これはこの教育改革をわかりやすく伝えるためのツールであります。子どもから大人までその学びを充実したものとしていくためには、地域・家庭、それから民間企業等多くの関係者の支援が必要となりますので、そういった方々にも動画でわかりやすく広報をしていきたいということも考えています。</p>

	<p>この動画の中でも教育行政のプロということで採用された職員がそれぞれの言葉で自分たちの思いで語りをしています。若い職員も大いにそういった力を積極的に発揮しながら、学校と市役所職員、そして産官学が一丸となって、今後の戸田市の教育改革を推進していきたいと考えているところであります</p> <p>以上です。</p>
<p>市長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは私からは戸田市教育大綱について説明させていただきます。「はじめに」という項目、「基本方針の実現に向けて」という項目、「基本方針の具体的な内容について」という3つの柱と6つの重点目標を図示したもの、以上で構成されています。</p> <p>就任させていただいて最初に総合教育会議を開催した際にはこれまでのものを引き継いでやっていこうということで取り組んでまいりました。そして、就任から約3年となり、第5次総合振興計画と第4次教育振興計画、さらに教育長の新たな任期のスタートという節目であるということも踏まえ、これまでのいい部分を引き継ぎながら私自身の思いをこの教育大綱に込められれば、という思いで作らせていただきました。</p> <p>内容を読ませていただきます。</p> <p><b>■はじめに</b></p> <p>私は市長就任以来、教育に重点を置き市政を執り行ってまいりました。</p> <p>志をもって社会を変革する力、夢や目標を成し遂げる力、新たな価値を創造する力は、不断の学びによって養われます。</p> <p>生きることとは学ぶことであり、学びによって人は輝き、人間の可能性は無限に広がります。</p> <p>令和の新時代において、人口減少・少子高齢化、デジタル化などの技術革新、グローバル化の進展や新型コロナウイルス感染症をきっかけとした社会構造の変革など、世の中はめまぐるしく変化しています。</p> <p>また、家庭環境の多様化、地域コミュニティの希薄化や外国人市民の増加など、子どもたちを取り巻く地域の環境も大きく変化しています。</p> <p>先を見通すことが極めて困難なこうした時代の中で、子どもたちが人生を切り拓いていくためには、「知育・徳育・体育の調和がとれ</p>

た基礎的な力」をバランス良く養うことが重要です。また、主体的に社会と関わり、超スマート社会を生き抜くための「非認知能力など未来を創る力」を育むことも重要です。

一方、人生100年時代が到来したいま、老若男女だれもが文化、芸術、スポーツ活動などに親しむことで自分の可能性を開花させることができるとともに、学ぶ喜びをいつでも感じられるまちづくりが求められています。

こうした世の中の変化や社会のニーズに的確に対応できるよう、このたび戸田市教育大綱を新たに策定いたしました。

新たな大綱では、基本方針として『共に「つくり まもり つなぐ」教育のまち 戸田』を掲げ、3つの柱に基づく6つの重点目標を定めました。

この中で私がキーワードとして紹介したいところは「生きることとは学ぶこと」という部分です。これは学びというのは生きている限りずっと続いていくということであり、数学のフィールズ賞を受賞した広中平祐さんという方がそういうような本を書いております。常に創造することは生きることにつながっていくことを仰っており、教育大綱中に込めさせてもらいました。

また、『共に「つくり まもり つなぐ」教育のまち 戸田』という方針のところですが、これは自分の公約にも3本柱で市政運営の基本的な部分で「つくる まもる つなぐ」というところを全ての政策にそこに当てはめて進めているわけですが、この部分も自分の思いとして込めさせていただきました。

次に進ませていただきます。

#### ■基本方針の実現に向けて

この戸田市教育大綱は、市政運営の最も基本となる計画である「戸田市第5次総合振興計画」の将来都市像「『このまちで良かった』みんな輝く 未来共創のまち とだ」及び、基本目標Ⅰ「子どもが健やかに育ち、いきいきと輝けるまち」基本目標Ⅱ「創造性や豊かな心を育むまち」を受けたものとなっています。

また、このたび策定した「第4次戸田市教育振興計画」では、これまで数多くの成果を上げてきた戸田の教育改革を踏まえ、「生き生きと 共に育む 教育のまち 戸田」の基本理念のもと、今後5年間の教育改革の方向性を明確にし、EBPMの核となる検証可能性を高め、市民をはじめとする関係者にも理解され信頼を得ることを目標

に掲げています。

今後は、多様性と包摂の視点のもとでSDGs(持続可能な開発目標)の精神である「誰一人取り残さない」社会の実現とESD(持続可能な開発のための教育)に取り組むことを通じて、とだっ子と全ての市民一人ひとりの人生が輝きに満ちあふれたものとなるよう、市全体でこの大綱に取り組みます。

そして、市長部局と教育委員会が認識を共有しながら、引き続き、学校・家庭・地域が相互に連携してあゆみ、教育日本一を目指してまいります。

これは、しっかり組織が連携して進めていこう、また、これまで培ってきた戸田市の教育の成果を活かして次に進めていこう、という前向きな気持ちを示させていただきました。また、普段から私が申し上げている教育日本一という言葉を含めさせていただいたものとなっております。

次に基本方針『共に「つくり まもり つなぐ」教育のまち 戸田』という部分と、3つの柱、6つの重点目標という部分について、かいつまんでお話をさせていただきます。

郷土を愛する力、郷土への想い、人のために役に立ちたいという想いというものは非常に大事なことだと思っております。今後、ますますそういうことが求められてきて、自分さえよければいいとか、今さえよければいいというような思いでは、この先日本人としてもやっていけないし、世界の中でもなかなか通用していかないと思います。そういう中で日本がこれまでも大事にしてきた価値観を大事にして公共の精神を育てていくということを最初に掲げさせていただきました。特に戸田市の場合は新しい住民が多いので、戸田市の良いところを皆さんにもっともっと知ってもらいたいですし、子どもたちにも郷土のことをしっかり学んでほしいなという思いもありまして「ふるさと戸田を愛し社会に貢献する人財をつくる」としたところでございます。

次に、「未来を切り拓く力」というのはまさに教育長がこれまで進めてきていただいた戸田市の教育改革のことをお話させていただいたつもりです。戸田市の強みをしっかり伸ばしていくために、市長部局として応援していくことで新しい戸田市の教育というのを作っていきたいということを伝えさせていただいたものです。

次に「まもり」という部分では、様々な家庭環境を持った子ども、

外国人の子どもが増えています。教育を受けたいという方々がちゃんと受けられるような状況を作ってあげたい、まさにSDGsの思いと重なる部分ですが、誰一人取り残さないという教育の機会均等は大事であることの確認となります。

また、今は学校の老朽化や教室不足など戸田市は他の自治体とはまた別の意味でいろんな悩みを抱えながら教育行政を行っております。今後も建替えは続きますし、来年度は全ての小学校の体育館にエアコンを設置し、防犯カメラはこの3月の末に全ての小学校の通学路に設置します。こういったことを活かして、大変ご苦労されている先生のためにも安心・安全で質の高い教育環境を守っていきたい、その思いを掲げさせていただいております。

三つ目の「つなぐ」ということですが、これは従来からお話させていただいている15年教育に係るものです。

誕生してから中学校卒業するまでの間、教育委員会、福祉部、子ども青少年部といった組織で様々な形で縦の連携をすることで、子どもたちがまっすぐと15年間教育を受けることができるのかなと思います。特に虐待等今の世の中に出てきている様々な課題がありますので、こういった課題にしっかり対応できる体制を敷きたいという思いで「つなぐ」と表現させていただきました。

最後は、家庭そして地域あるいは今教育委員会が進めている産官学民との連携を活用しながら、相互に子どもたちを中心に据えて繋いでやっていこうと思っています。生涯学習についても、人生100年時代ということで、どんな年齢からでも学びたい人が学べる環境を作り、学びのまちというような形でみんなが繋がっていければ、という思いで多様な主体を「つなぐ」と表現させていただいた次第です。

以上の6つの重点目標を掲げ、教育大綱の案とさせていただきました。

ところで、戸田市の教育のことで昔の文献にあたっていたところ戸田市教育今昔史という昭和58年の本がありました。この本によると、現在戸田市は教育政策シンクタンクというものを作っていただいておりますが、その大昔に教育研究所という独自のものを持っていたのです。そこが寺小屋にまで遡り過去の戸田市の教育を調べて1冊の本にまとめたものです。

戸田市は昭和50年代当時から教育にかける思いがあり、過去の市長から戸田市のいい部分が歴代ずっと繋がってきて今があるので、こういった火は絶やしてはいけないと思っています。その

	<p>思いをこの教育大綱を通じて皆さんと共有して一緒に次の世代に繋げていければと思います。</p> <p>では、委員の皆さんにおかれましては、忌憚のないご意見をいただければと思います。</p>
委員	<p>戸田は市長も住民も若いですから、そういう意味で戸田に合っているのは「希望を持てるまち」あるいは「夢を持てるまち」だと思います。</p> <p>そういう社会をつくるために、そこに住んでいる若い人、年を重ねた人など、様々な層の方が一生懸命生きていますが生きることは市長が先ほどおっしゃったように学ぶことであるから、学校教育で子どもたちが学校で学ぶと同時に、社会人は社会・生涯学習で学ぶ、という二つの学びが用意されているのかなと理解をしております。</p> <p>その意味において、教育大綱の案では表現がちょっと古いのかなと思われる部分が少し見受けられました。「知育・徳育・体育」、これは私の年代だったらピンときますが、20代30代の方々にとってはこの言葉がどうなのかなと思いました。「知・徳・体の調和のとれた基礎的な力」と言った方がわかりやすいのかなと思いました。</p> <p>そして基本方針の『共に「つくり まもり つなぐ」』という言葉についてですが、市長がご説明いただいたので意味を把握しましたが、最初ぱっと見たときに何をつくるのだろうか、何をまもののだろうか、何をつなぐのだろうかと疑問に思いました。</p> <p>最後にEBPMという記述がありましたが、他のSDGsとかESDは括弧の中に意味が記載してあるのですが、EBPMについては何も説明がありません。「客観的な根拠に基づく政策立案」、というような言葉を補っていただくと、市民の方も理解ができるのではないかと思います。</p> <p>いずれにしても、戸田市は夢のある、希望のあるまち、それを目指すため国籍も年齢も関係なく老若男女の市民を育てていくということを市長がアドバルーンを上げていただくと、今の暗くなっている時代に元気がでてくるのかなと思います。</p>
市長	<p>ありがとうございます。</p> <p>EBPMの記載については修正等の対応をさせていただきます。</p> <p>また、「つなぐ」等の表記が一見分かりづらいというご指摘もありましたが、中身を読んでいただきご理解いただければと思います。</p> <p>漢字という選択肢もあるかなと思ったのですが、そうすると意味が固定してしまうのかなと考えました。ひらがなにすることによっ</p>

	<p>て色々な解釈ができるのかなという思いがありました。その点もご理解いただければと思います。</p> <p>さらに、未来に希望を持てるような部分の表現の盛り込みについても承知しました。</p> <p>続きまして委員の方のご意見をお願いします。</p>
委員	<p>I C Tの活用、未来を切り拓いていく、さらに伸ばすため応援していく、新しい戸田市の教育を作っていく、といった言葉がありましたが、非常に胸の奥に収まった言葉でありました。</p> <p>戸田市の教育は先端教育の先を行っていますし、私は戸田市の教育の未来はとても楽しみであると感じております。市民もそのように思っているのではないのでしょうか。ある意味では満足している、ある意味では新しいものを求めているのかと思います。0歳からシニアまでの市民全体ももちろん大事にしてほしいのですが、学校に通っている小学生と中学生を本当に大事にしてほしい。これから育っていく子たちなのですから。</p> <p>ところで、戸田中央図書館とやりとりがありました。電子図書館についてです。1月8日にスタートして早速利用しました。手続きが少し難しかったですが、やりとりができてすぐ読みたい本が手元に来ました。返却する必要がないのでストレスがかかりませんでした。</p> <p>それを今の小中学生に突き合わせると、子どもたちが自分の手元にいろんな情報をとっていくという時代が変わってくると思います。それはなぜかというとI C Tという端末があるからです。その世界を大事にしてほしいと思います。</p> <p>戸田市中央図書館の電子図書館の蔵書数は約7,000冊とのことです。約10年前に千代田区の図書館に視察に行ったところ千代田区の電子図書館では約9,000冊の蔵書数とのことでした。</p> <p>これから戸田市教育日本一を達成するのだったら一番大事に成長していく育成していく子どもたちに焦点をあてていけたらいいと思います。蔵書をたくさん増やすのもいいですが、できるだけ電子図書館を推進し、未来を作っていく子どもたちに力を入れていただければ、そんな想いで教育大綱の内容を聞いておりました。</p>
市長	<p>電子図書館は1冊約3,500円くらいと聞いております。</p> <p>現在の図書館の指定管理者の業者が電子図書館について実績のある会社で、あまりコストをかけずにやっていただいています。</p>
委員	<p>中央図書館というところをメインにおいて、学校後の教室から、</p>

	<p>または家から児童生徒が出て行くことで、児童生徒がどんどんリンクしていくということを大事にして予算をかけてほしいと思います。</p> <p>そうすることで学校の図書館も変わるのかなと思います。</p>
市長	<p>ありがとうございます。ご意見として承らせていただきます。</p> <p>次の委員様お願いします。</p>
委員	<p>教育大綱に関しては、戸田市が今取り組んでいることも含めながら、市長の思いをふんだんに語ってくださったのかなと思いながら読ませていただきました。</p> <p>ところで、今回のコロナのことで色々なことが見えたのかなと思います。今までだったら、毎年のようにインフルエンザで学級閉鎖とか学年閉鎖とかが起きて、そこで学びを止めていたことになっていたと思います。しかし、今回のコロナのことで、みんなが手洗いやマスクなど様々な感染対策を今まで以上に徹底したことで、インフルエンザによる学級閉鎖がなかったという話も聞いております。学級閉鎖等今まで例年起きていたことも、みんなが気を付ければ学校を止めずに済むのではと認識できたと思います。</p> <p>また、今のコロナに対して、例えば消毒のことなども、対応をどのようにするかを学校単位で考えるのではなくて、もっと大きいところから指示を出すことで感染対策が沢山考えることができると思いました。</p> <p>コロナに関しては、もしかしたら今だけのことかもしれない、もしかしたら長くなるかもしれない、これはわからないけれども、気をつけていくことで、今まで気づかなかったことも対策していけるのではないかと思いますので、今回のコロナ対策をきっかけとして、今後少し期待したいと思っています。</p> <p>今回のコロナの不安から学校に行けない子だったり学校に行かせられない親だったりというのもいらっしゃったということも聞いておりますので、「まもり」の中に、不登校やいじめとか精神的な部分を守るところ、防犯カメラ設置といった防犯の意味で守るところ、さらに、感染対策等で健康を守るところが一つの柱の中に入ることが、現状においては大事なことなのかなと思います。そうすることで、学校に行けない子や、学校に出せない親がいないように、安心して行ける・行かせられる、という部分をまもっていただきたいです。</p> <p>そのようなたくさんの意味が基本方針に示されている「まもり」</p>

	から感じ取れるといいなと思いました。
市長	<p>まさに人をまもることが、ここには込められています。学ぶことは崇高なことですし、そういうのをしっかりもっていきというような思いも込めさせていただきました。</p> <p>虐待等がある中で誰もが学びができるというのは大事であると考え「まもり」という言葉をつけました。</p> <p>では次の委員様お願いします。</p>
委員	<p>4月からタブレットが1人1台という形になりましたが、学校のWi-Fi環境で足りない部分があればぜひ整備の方をしてほしいと思います。機器の不具合で子どもたちの学習が止まると困りますので。</p> <p>また、家庭に持って帰るということを考えると、家庭のネット環境により勉強できる・できないが変わってしまうと子どもがかわいそうなので、戸田市全体として少しでも市民のネット環境を整えていってほしいです。</p> <p>若い人にとっても魅力のあるまちになるので考えていただければと思います。</p>
市長	<p>タブレットは文房具で、文房具が使えない学校は学びができないということになりますから、通信環境に不具合が生じないようにしっかり相談させていただきながらやっていきたいと思っています。</p> <p>教育大綱の方はどうですか。</p>
委員	盛りだくさんで結構な内容だと思いました。
市長	<p>ありがとうございました。</p> <p>教育長からお願いします。</p>
教育長	<p>これまでの委員の話をお聞きしている限り、この大綱については皆さんに概ね認めていただいているものと感じております。</p> <p>ところで、今お話を聞きながら思ったのは、教育は一言で言うとやはりお互いの信頼関係がとても大事であるということです。市長と教育委員会との関係、教育委員会の皆さんと教育長との関係、さらに教育委員会事務局と学校との関係、その中に「信頼」という2文字がないと万事が円滑に運ばなくなります。</p> <p>学校と教育委員会との関係に関しては、「学校とともに伴走し、積極的な自走を支援し、逸走や暴走を軌道修正する」のが教育委員会の役割であると考えております。</p> <p>教育委員会の中でも教育委員さん同士が信頼し合って、また、市長部局と教育委員会との関係も信頼も一層強固なものになってい</p>

	<p>けば、もうまさに戸田の教育は安泰となり、まさに教育日本一に繋がっていくのかな、ということを感じています。</p>
市長	<p>ありがとうございました。</p> <p>委員から指摘のありました「知・徳・体の調和のとれた基礎的な力」という表現の提案、EBPMの説明、さらに、未来に希望を持てるような部分の表現の盛り込み、について一任していただけるようであれば、それらの修正も含め戸田市教育大綱はこの内容で決定させていただきたいと思っておりますけれども、よろしいでしょうか。</p> <p>(異議等なし)</p> <p>特に異議がないということで議題(1)を閉じさせていただきます。</p> <p>続きまして、議題(2)のその他であります、事務局で何かありますでしょうか。</p>
事務局	<p>特にございません。</p>
市長	<p>委員の皆さまから何かございますでしょうか。</p>
委員	<p>私から申し上げさせていただきます。</p> <p>先日、散歩をしていた際、防犯カメラの設置工事をしているのを見ました。</p> <p>ちょうど子どもたちの動線の分かれ道のところに設置されているようで、それだけで安心感をもつことができました。不審者もこういったところを避けていくであろうと感じます。自分自身防犯カメラのあるところを通行する際とても緊張するところです。</p> <p>今後も要所要所に防犯カメラの設置をしていただければと思います。</p>
市長	<p>今年度中に市内300ヶ所の防犯カメラを稼働します。</p> <p>付近になるべく大きな「防犯カメラ作動中」というステッカーを貼るなど不審者が避ける環境を作りたいと考えています。</p> <p>既に事件の捜査に利用されていると聞いておりますので、今後も安心安全に寄与するものと考えております。</p> <p>また、防犯カメラの設置を規定する条例の中でカメラに映る個人情報についても適正に運用できるよう定めております。</p>
市長	<p>それでは、他に意見が無いようですので、(2)を閉じさせていただきます。</p> <p>以上をもちまして、令和2年度第2回戸田市総合教育会議を閉会</p>

	<p>とさせていただきます。なお、後ほど議事録を作成させていただきますので、ご確認のご協力をよろしくお願い申し上げます。</p>
--	--

本日は誠にありがとうございました。

この議事録が正確であることを証明するため、議事録署名人は次に署名する。

令和3年 4月15日

菅原文仁

---

戸ヶ崎 勤

---

仙波 憲一

---

鈴木 晃

---

土肥 美奈子

---

木村 雅文

---